

## 経過の長期給付積立金の令和元年度第2四半期運用状況

- 経過の長期給付積立金の基本的な考え方
  - 閉鎖年金であることを踏まえ、年金支給のためのキャッシュフローを安定的に確保するため、安定的な元本回収及びインカムゲインが期待できる国内債券での運用
  - 国家公務員共済組合の事業にかかる「貸付金及び投資不動産」(共済独自資産:国内債券と同様の特性を有する)については、国家公務員共済年金積立金としての「退職等年金給付積立金(新3階積立金)及び経過の長期給付積立金(旧3階積立金)」で保有

- 第2四半期末の運用資産額は、4,647億円となりました。
- 第2四半期の収益額は、6億円(実現収益額)となりました。
- 第2四半期の収益率(期間率)は、0.13%(実現収益率)となりました。

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、情報公開を積極的に行う観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

1. 運用資産額の状況

(単位：億円)

	平成30年度				令和元年度			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	5,697	4,171	4,125	4,524	4,445	4,434	-	-
短期資産	871	2,183	1,482	856	430	214	-	-
合計	6,568	6,354	5,608	5,380	4,876	4,647	-	-

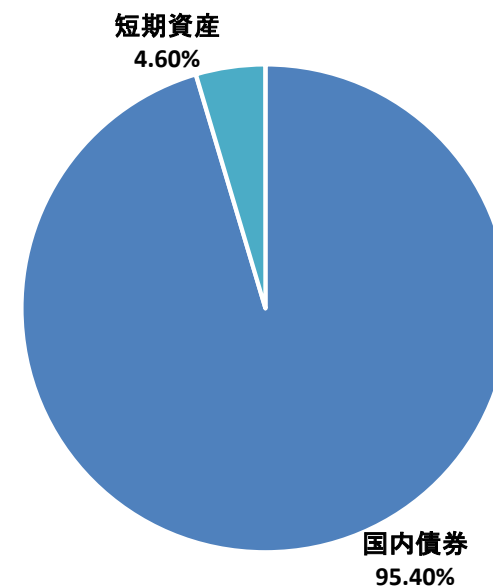
(注1) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 上記数値は速報値のため決算等で変更になる場合があります。

## 2. 資産構成割合の状況

	令和元年度 第2四半期末	
	資産額（億円）	構成割合
国内債券	4,434	95.40%
短期資産	214	4.60%
合計	4,647	100.00%



（注1）国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

（注2）財投預託金については、簿価評価としています。

（注3）基本ポートフォリオは、国内債券100%（短期資産含む。）です。

（注4）上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

（注5）上記数値は速報値のため決算等で変更になる場合があります。

### 3. 収益額の状況

(単位：億円)

	平成30年度					令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	48	16	14	20	98	7	6	-	-	13

#### 【参考】

(単位：億円)

	平成30年度					令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	48	16	14	20	98	7	6	-	-	13
国内債券	48	16	14	20	98	7	6	-	-	13
短期資産	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため決算等に変更になる場合があります。

## 4. 収益率の状況

(単位：%)

	平成30年度					令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.71	0.25	0.23	0.35	1.57	0.13	0.13	-	-	0.26

### 【参考】

(単位：%)

	平成30年度					令和元年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.71	0.25	0.23	0.35	1.57	0.13	0.13	-	-	0.26
国内債券	0.84	0.30	0.37	0.47	2.06	0.15	0.14	-	-	0.29
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。また、各期間及び年度は期間率です。

(注2) 国内債券には、財投預託金・共済独自資産を含みます。

(注3) 上記数値は速報値のため決算等で変更になる場合があります。